

令和2年度 機械システム工学科 1年次生ガイダンス

- ① 機械システム工学科1年次ガイダンス(全般説明)
… 1～5 ページ
- ② 機械システム工学科1年次ガイダンス(履修関係)
… 6～28 ページ
- ③ 機械システム工学科1年次ガイダンス(PC導入関係)
… 29～41 ページ

1

本資料は、機械システム工学科の1年次を対象としたガイダンス資料です。

主に「機械システム工学科」に関する内容を説明しているのですが、工学部全体や共通教育(松本キャンパス)に関するガイダンスについては、それぞれ別に用意されているガイダンス資料などを参照するようにしてください。

ガイダンス資料は、下記の三つに分かれています。

- ① 全般的な内容 … 1～5ページ
- ② 履修に関する内容 … 6～28 ページ
- ③ PC(パソコン)の導入に関する内容 … 29～41ページ

1. 学科ガイダンスと併せて確認すべき資料

【郵送にて配布されている資料】

- a. 配布物一覧・今後のスケジュール
- b. 共通教育履修案内(A4判冊子)
- c. 学生便覧(A4判冊子)・・・信大生の間は必携(卒業するまで紛失しないこと！)
- d. 学生氏名確認/アカウント通知書(A4判, 1枚)
- e. 学生生活案内2020 (A5判冊子)
- f. 新入生ハンドブック2020 (A5判冊子)

2

本学科ガイダンス資料とともに、すでに郵送にて配布されている資料についても必ず目をとっておして、内容を理解しましょう。

ただし、冊子に記載されているスケジュールなどは一部変更されている場合があるので、a「配布物一覧・今後のスケジュール」に記載されている日程に従うようにしてください。

また、今後もスケジュールなどが変更される可能性があるため、信州大学ホームページ、工学部ホームページ、キャンパス情報システム、ACSUアカウントへのメール(学籍番号+@shinshu-u.ac.jp)などを常にチェックするようにしましょう。

2. 全般的な注意事項

- 1年次必修単位は1年次のうちに修得すること
⇒ 留年の可能性を減らすため
- 多くの単位, 良い成績を取得することを目指すこと
⇒ 卒業研究, 大学院(飛び級), 学生表彰, 等
- 成績通知書の保証人(保護者)への送付
⇒ (10月, 3月)
- 学生の懲戒について
 - ②試験等における不正行為
 - ③~⑥飲酒関係(未成年の飲酒行為)

学生便覧 P.68
学生の懲戒

3

②履修関係, ③PC導入のガイダンス資料の内容の他, これからの大学生活に関して特に重要な注意事項をまとめました.

2年次以降は長野(工学)キャンパスに拠点を移すこととなりますので, 松本キャンパスにて修得すべき1年次の単位は今年度のうちに修得しましょう.

各学期(前期, 後期)の成績が確定したのちには, 保証人へ成績通知書が送付されます.

学生の懲戒については, 学生便覧の68ページに記載されています.

特に, ②試験における不正行為や③~⑥飲酒に関する種々の行為についても懲戒の対象となりますので, 注意しましょう.

2. 全般的な注意事項

□ 傷害保険

学生教育研究災害傷害保険
学生部厚生課へ

学生生活案内2020 P.26

□ 自転車の事故(特に, 人身事故…損害賠償保険への加入)

□ 自動車(バイク)の運転と任意保険への加入

□ 悩みごと

学生相談センター, 総合健康安全センター,
担任, 大学の支援窓口, 相談窓口の活用

学生生活案内2020 P.30~34

□ 勧誘(悪徳商法, 宗教, 等), ネットトラブルに注意

学生生活案内2020 P.41

4

大学生活について, 様々な制度や相談先が用意されています。

学生生活案内2020の冊子を読んで, 活用するようにしましょう。

3. 関係教員の連絡先

担当	氏名	研究室所在	連絡先
担任	准教授 西村 正臣	長野(工学)キャンパス 機械システム工学科	学生便覧 P.131
	クラス担任		
担任	教授 松原 雅春	松本キャンパス 全学教育機構	共通教育履修案内 P.195
	クラス副担任		
学務委員	准教授 亀山 正樹	長野(工学)キャンパス 機械システム工学科	学生便覧 P.131
	学務委員 ～ R2年4月		
学務委員	准教授 牛 立斌	長野(工学)キャンパス 機械システム工学科	学生便覧 P.131
	学務委員 R2年5月～		
PC導入委員	准教授 藤井 雅留太	長野(工学)キャンパス 機械システム工学科	学生便覧 P.131

5

関係する教員の連絡先については、【学生便覧】もしくは【共通教育履修案内】の該当ページに記載されています。質問や依頼事項がある場合は、各先生に直接連絡をしてください。

ただし、大学生となった皆さんには、さまざまな事柄について、個々人で考え・判断することが求められます。わからないことは何でもすぐに教員に質問するのではなく、まずは**すべての資料**について熟読して、それでもわからない・判断できない内容があった場合には、**質問・依頼事項を明確にした上で相談するようにしましょう。**(信州大学 新入生ハンドブック2020の第2章の第1節や第3節も参照しましょう。)

1年生担任は、長野(工学)キャンパスに籍を置く【クラス担任】と松本キャンパスに常駐する【クラス副担任】がいます。工学部もしくは機械システム工学科に関する全般的な内容については前者の【クラス担任】が、1年次の松本キャンパス内での内容や共通教育に関する内容などについては後者の【クラス副担任】が、それぞれ主に担当します。誰に相談したらいいかわからない場合は、クラス担任宛てにメール相談してください。

学務委員は、主に履修に関する内容について担当します。4月中までは亀山先生、5月以降は牛先生が連絡先となります。

学科ガイダンス資料に関する質問先は、以下の通りとしてください。

②履修関係 → 学務委員

③PC導入関係 → PC導入委員

その他、全般的な内容 → クラス担任

履修関係の説明

1. カリキュラムのしくみ
2. 卒業に必要な授業科目及び単位数
3. 4年次への進級要件
4. 1年次に修得すべき科目
5. 学修の心得
6. 履修における注意事項
7. 取得可能な資格・取得を目指せる資格
8. 学外特別講義, 学外特別実習, 等

【重要】
「全学教育機構 新入生ガイダンス資料」
「配布物一覧・今後のスケジュール」
と併せて読むこと

本説明資料に関する問い合わせ先

【学務委員】

准教授 亀山 正樹 (～2020年4月)⇒5月以降も当面对応可

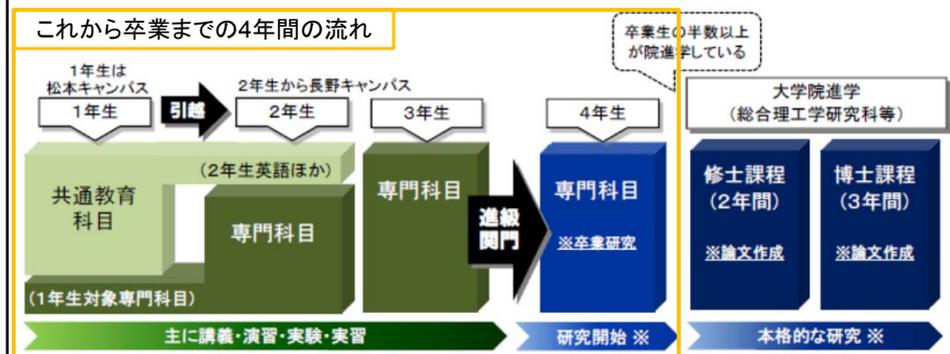
准教授 牛 立斌 (2020年5月～)

連絡先等については、

「工学部等教員一覧(学生便覧130～132頁)」を参照

学生便覧 P.4

1. カリキュラムのしくみ



【重要】単位とは何か？ 学生便覧 P.5

授業に出席，課題をこなし，試験を受けて合格 ⇒ 単位認定
⇒ 単位認定を積み重ねて要件を満たせば，「進級」，「卒業」

1. カリキュラムのしくみ

【確認してほしい事項】 学生便覧 P.48

- a. 卒業に必要な授業科目及び単位数(卒業要件)
- b. 4年次への進級要件
(卒業研究を行うために必要な授業科目・単位数)
- c. 1年次に修得すべき科目

2. 卒業に必要な授業科目及び単位数

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次	計	
共通教育科目	基盤系	学術リテラシー	1単位			1単位	
		統計					
		科学史	左記の3科目から1科目(2単位)修得				2単位
		現代社会論					
	健康	1単位				1単位	
	言語	英語	アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅠ(A) 1単位				4単位
			アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅡ(A) 1単位				
		リテラル・リーディングⅠ 1単位 リテラル・リーディングⅡ 1単位					
	初修外国語						
	教養系	人文・社会	以下①～③の要件を満たした上で12単位修得				12単位
自然・技術		①左記の3区分からそれぞれ2単位以上修得					
環境・健康		②「環境・健康」のうち「環境科学」を2単位修得【必修】 ③演習形式の授業を2単位履修【必修】					

卒業に必要な授業科目・単位数

卒業に必要な合計単位数

(次頁へつづく)

2. 卒業に必要な授業科目及び単位数

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次	計	
共通教育科目	言語	英語	アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅢ 2単位 アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅣ 2単位			4単位	
		初修外国語					
	専門基礎系	必修	数学(微分積分Ⅰ) 2単位 数学(微分積分Ⅱ) 2単位 数学(線形代数Ⅰ) 2単位 物理学(力学) 2単位	数学(線形代数Ⅱ) 2単位			10単位
			化学(一般化学Ⅰ) 2単位 化学(一般化学Ⅱ) 2単位 生物学(生物学A) 2単位 生物学(生物学B) 2単位 地学(地学概論Ⅰ) 2単位 地学(地学概論Ⅱ) 2単位	物理学(波動と光) 2単位			2単位
		選択					
	日本語・日本事情教育科目		外国人留学生対象: 教養系または英語(基盤系または専門基礎系、4単位まで)に算入可				
	計						36単位
	専門科目	必修	機械システム工学ゼミナール 2単位 数学演習 1単位 機械設計製図Ⅰ 1単位	エンジニアリング科目 4単位 学部共通科目 1単位 学科共通科目 13単位		10単位	32単位
				56単位			56単位
		選択					
計						88単位	
合計						124単位	

卒業に必要な授業科目・単位数

卒業に必要な合計単位数

学生便覧 P.4

3. 4年次への進級要件 (卒業研究を行うために必要な授業科目・単位数)



4年次の必修専門科目：卒業研究【10単位】

⇒ 卒業研究に支障をきたさないように、3年次末までに修得を要する授業科目および単位数の要件を定めている

学生便覧 P.48の下表

3. 4年次への進級要件 (卒業研究を行うために必要な授業科目・単位数)

お願い：
学生便覧の誤植を修正すること

- (条件①) 共通教育科目：
卒業要件単位数 **36単位** (基盤系, 教養系, 専門基礎系) を全て修得
- (条件②) 必修専門科目：
以下の5科目を除く**17単位**を全て修得するとともに、以下の5科目のうち3単位を修得
「材料力学演習」「機械力学演習」「熱力学演習」
「流体力学演習」「制御工学演習」
- (条件③) 専門科目(必修科目, 選択科目)：
70単位以上を修得

学生便覧 P.48

3. 4年次への進級要件(卒業研究を行うために必要な授業科目・単位数)

科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次	計
共通教育科目	学術リテラシー	1単位			1単位
	統計				
	科学史	左記の3科目から1科目(2単位)修得			2単位
	現代社会論				
	健康	1単位			1単位
基盤系	言語	英語	アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅠ(A) 1単位 アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅡ(A) 1単位 リテラル・リーディングⅠ 1単位 リテラル・リーディングⅡ 1単位		4単位
		初修外国語			
		人文・社会	以下①～③の要件を満たした上で12単位修得 ①左記の3区分からそれぞれ2単位以上修得 ②「環境・健康」のうち「環境科学」を2単位修得【必修】 ③演習形式の授業を2単位履修【必修】		
教養系	自然・技術				
	環境・健康				

条件①

進級要件の条件①～③は、卒業要件表の各場所に対応

(次頁へつづく)

学生便覧 P.48

3. 4年次への進級要件(卒業研究を行うために必要な授業科目・単位数)

科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次	計	
共通教育科目	言語	英語	アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅢ 2単位 アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅣ 2単位		4単位	
		初修外国語				
	専門基礎系	必修	数学(微分積分Ⅰ) 2単位 数学(微分積分Ⅱ) 2単位 数学(線形代数Ⅰ) 2単位 物理学(力学) 2単位	数学(線形代数Ⅱ) 2単位		10単位
		選択	化学(一般化学Ⅰ) 2単位 化学(一般化学Ⅱ) 2単位 生物学(生物学A) 2単位 生物学(生物学B) 2単位 地学(地学概論Ⅰ) 2単位 地学(地学概論Ⅱ) 2単位	物理学(波動と光) 2単位		2単位
日本語・日本事情教育科目	外国人留学生対象: 教養系または英語(基盤系または専門基礎系, 4単位まで)に算入可					
専門科目	必修	機械システム工学ゼミナール 2単位 数学演習 1単位 機械設計製図Ⅰ 1単位	エンジニアリング科目 4単位 学部共通科目 1単位 学科共通科目 13単位		32単位	
	選択		56単位		56単位	
	計				88単位	
	合計				124単位	

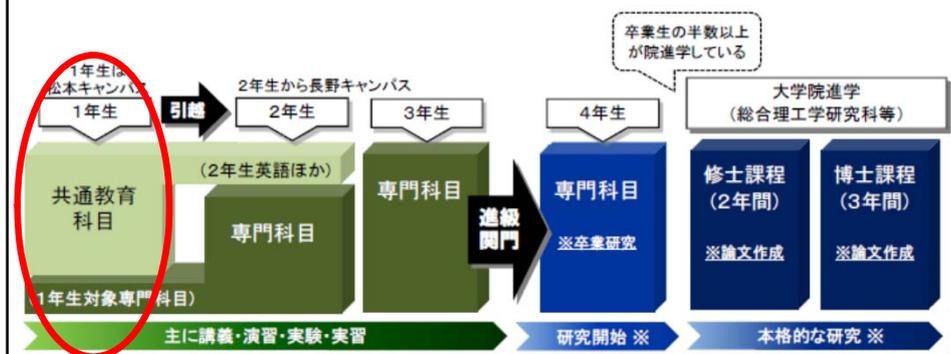
条件①

条件②

条件③

進級要件の条件①～③は、卒業要件表の各場所に対応

4. 1年次に修得すべき科目



⇒ 1年次に修得すべき科目は、
「共通教育科目」の大半と、「専門科目」の一部

【重要】
「2020共通教育履修案内」履修解説(P.1～72)
と併せて読むこと

P.27～36 共通教育科目について
P.38～44 履修の方法と注意
P.45～51 履修登録の方法

学生便覧 P.48

共通教育履修案内 P.21

4. 1年次に修得すべき科目

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次	計	
共通教育科目	基盤系	学術リテラシー	1単位			1単位	
		統計					
		科学史	左記の3科目から1科目(2単位)修得				2単位
		現代社会論					
		健康	1単位			1単位	
	言語	英語	アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅠ(A) 1単位				4単位
			アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅡ(A) 1単位				
		リテラル・リーディングⅠ 1単位					
		初修外国語					
	教養系	人文・社会	以下①～③の要件を満たした上で12単位修得				12単位
自然・技術		①左記の3区分からそれぞれ2単位以上修得					
環境・健康		②「環境・健康」のうち「環境科学」を2単位修得【必修】 ③演習形式の授業を2単位履修【必修】					

1年次に修得すべき授業科目・単位数

(次頁へつづく)

学生便覧 P.48

共通教育履修案内 P.21

4. 1年次に修得すべき科目

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次	計	
共通教育科目	言語	英語	アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅢ 2単位 アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅣ 2単位			4単位	
		初修外国語					
		必修	数学(微分積分Ⅰ) 2単位 数学(微分積分Ⅱ) 2単位 数学(線形代数Ⅰ) 2単位 物理学(力学) 2単位	数学(線形代数Ⅱ) 2単位			10単位
	基礎科学	選択	化学(一般化学Ⅰ) 2単位 化学(一般化学Ⅱ) 2単位 生物学(生物学A) 2単位 生物学(生物学B) 2単位 地学(地学概論Ⅰ) 2単位 地学(地学概論Ⅱ) 2単位	物理学(波動と光) 2単位			2単位
			日本語・日本事情教育科目		外国人留学生対象: 教養系または英語(基盤系または専門基礎系, 4単位まで)に算入可		
			計				36単位
	専門科目	必修	機械システム工学ゼミナール 2単位 数学演習 1単位 機械設計製図Ⅰ 1単位	エンジニアリング科目 4単位 学部共通科目 1単位 学科共通科目 13単位		10単位	32単位
				56単位			56単位
		計					88単位
	合計						124単位

1年次に修得すべき授業科目・単位数

4. 1年次に修得すべき科目

【1年次の履修における要注意事項】

- ・共通教育科目の全単位
- ・必修専門科目の全単位

を修得して、2年次へ進級すること

共通教育履修案内 P.2

履修登録上限単位数(前期・後期各24単位)
を考慮して履修計画を立てる(時間割を作る)

4. 1年次に修得すべき科目

次頁から、科目区分ごとに概要説明

学生便覧 P.48

共通教育履修案内 P.21

4. 1年次に修得すべき科目

科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次	計	
共通教育科目	学術リテラシー	1単位			1単位	
	統計					
	科学史	左記の3科目から1科目(2単位)修得			2単位	
	現代社会論					
	健康	1単位			1単位	
	言語	英語	アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅠ(A) 1単位			4単位
			アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅡ(A) 1単位			
			クリティカル・リーディングⅠ 1単位 クリティカル・リーディングⅡ 1単位			
	初修外国語					
	人文・社会	以下①～③の要件を満たした上で12単位修得			12単位	
自然・技術	①左記の3区分からそれぞれ2単位以上修得					
環境・健康	②「環境・健康」のうち「環境科学」を2単位修得【必修】 ③演習形式の授業を2単位履修【必修】					

共通教育履修案内 P.27

4. 1年次に修得すべき科目 【基盤系「学術リテラシー」】

1単位, **必修**, **前期「のみ」**開講

⇒ **必ず**, 期間内

(4月16日(木)～4月21日(火)15:00)

にエントリーして, 単位修得すること

学生便覧 P.48

共通教育履修案内 P.21

4. 1年次に修得すべき科目

科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次	計
学術リテラシー	1単位				1単位
統計					2単位
科学史	左記の3科目から1科目(2単位)修得				
現代社会論					
健康	1単位				1単位
言語	英語	アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅠ(A) 1単位			4単位
		アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅡ(A) 1単位			
		クリティカル・リーディングⅠ 1単位 クリティカル・リーディングⅡ 1単位			
初修外国語					
人文・社会	以下①～③の要件を満たした上で12単位修得				12単位
自然・技術	①左記の3区分からそれぞれ2単位以上修得				
環境・健康	②「環境・健康」のうち「環境科学」を2単位修得【必修】 ③演習形式の授業を2単位履修【必修】				

共通教育履修案内 P.27～28

4. 1年次に修得すべき科目

【基盤系「統計」「科学史」「現代社会論」】

「統計」「科学史」「現代社会論」の中から**2単位**

- ・共通教育履修案内「開設授業科目表」P.78
- ・シラバス

を見て、履修する授業科目を自分で選び、
履修登録期間中に履修登録すること

【補足】 2単位を超える分については、卒業要件単位数には加えられない
⇒ だからといって2単位だけ履修することは、お勧めしない

学生便覧 P.48

共通教育履修案内 P.21

4. 1年次に修得すべき科目

科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次	計
基盤系	学術リテラシー	1単位			1単位
	統計				
	科学史	左記の3科目から1科目(2単位)修得			2単位
	現代社会論				
	健康	1単位			1単位
言語系	英語	アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅠ(A) 1単位 アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅡ(A) 1単位 クリティカル・リーディングⅠ 1単位 クリティカル・リーディングⅡ 1単位			4単位
	初修外国語				
	初修外国語				
教養系	人文・社会	以下①～③の要件を満たした上で12単位修得 ①左記の3区分からそれぞれ2単位以上修得 ②「環境・健康」のうち「環境科学」を2単位修得【必修】 ③演習形式の授業を2単位履修【必修】			12単位
	自然・技術				
	環境・健康				

共通教育履修案内 P.29

4. 1年次に修得すべき科目 【基盤系「健康」】

健康科学・理論と実践(1単位, **必修**)

機械システム工学科学生は, **後期**に履修

クラス分けは,

4月9日(木)にキャンパス情報システム上に掲載済み

学生便覧 P.48

共通教育履修案内 P.21

4. 1年次に修得すべき科目

科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次	計	
共通教育科目	基盤系					
	学術リテラシー	1単位			1単位	
	統計					
	科学史	左記の3科目から1科目(2単位)修得				2単位
	現代社会論					
	健康	1単位				1単位
言語	英語	アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅠ(A) 1単位 アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅡ(A) 1単位 クリティカル・リーディングⅠ 1単位 クリティカル・リーディングⅡ 1単位			4単位	
	初修外国語					
教養系	人文・社会	以下①～③の要件を満たした上で12単位修得 ①左記の3区分からそれぞれ2単位以上修得 ②「環境・健康」のうち「環境科学」を2単位修得【必修】 ③演習形式の授業を2単位履修【必修】				12単位
	自然・技術					
	環境・健康					

共通教育履修案内 P.29～30

4. 1年次に修得すべき科目 【基盤系「言語(英語)」】

- ・アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅠ(A) (1単位, 前期)
 - ・アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅡ(A) (1単位, 後期)
 - ・クリティカル・リーディングⅠ (1単位, 前期)
 - ・クリティカル・リーディングⅡ (1単位, 後期)
- 指定された科目(計4単位)を全て修得

習熟度別クラス編成 ⇒ クラス分けは, 4月9日(木)に
キャンパス情報システム上に
掲載済み

共通教育履修案内 P.29～30

4. 1年次に修得すべき科目 【基盤系「言語(英語)」】

各種英語資格試験(TOEIC, TOEFL, 英検, 等)による
英語科目の単位認定

申告制(共通教育履修案内 P.64～65)

⇒

決められた申請期間

(第1回は5月11日(月)～5月19日(火))に申請すること

※詳細は, 信州大学ウェブサイトで通知される予定

共通教育履修案内 P.29～30

4. 1年次に修得すべき科目 【基盤系「言語(初修外国語)」】

英語以外の外国語(中国語, ドイツ語, フランス語,
ハンゲル, スペイン語)

⇒

教養系「人文・社会」へ含めることができる

【注意】 英語に振り替えることは「できない」

学生便覧 P.48

共通教育履修案内 P.21

4. 1年次に修得すべき科目

科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次	計	
共通教育科目	基盤系					
	学術リテラシー	1単位			1単位	
	統計					
	科学史	左記の3科目から1科目(2単位)修得				2単位
	現代社会論					
	健康	1単位				1単位
言語	英語	アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅠ(A) 1単位 アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅡ(A) 1単位 クリティカル・リーディングⅠ 1単位 クリティカル・リーディングⅡ 1単位			4単位	
	初修外国語					
教養系	人文・社会	以下①～③の要件を満たした上で12単位修得 ①左記の3区分からそれぞれ2単位以上修得 ②「環境・健康」のうち「環境科学」を2単位修得【必修】 ③演習形式の授業を2単位履修【必修】			12単位	
	自然・技術					
	環境・健康					

共通教育履修案内 P.31～34

4. 1年次に修得すべき科目 【教養系】

- 要件①
- 「人文・社会」2単位以上必修
 - 「自然・技術」2単位以上必修
 - 「環境・健康」2単位以上必修(「環境科学」を2単位必修)
- 要件②

上記3区分から計12単位修得すること
うち、演習形式の授業(副題が「〇〇ゼミ」)を2単位必修

要件③

基盤系「言語(初修外国語)」を「人文・社会」へ含めることができる

共通教育履修案内 P.31～34

4. 1年次に修得すべき科目 【教養系】

- ・共通教育履修案内「開設授業科目表」P.84～88
- ・シラバス
を見て、履修する授業科目を自分で選ぶこと

【補足】 12単位を超える分については、卒業要件単位数には加えられない
⇒ だからといって12単位だけ履修することは、お勧めしない

共通教育履修案内 P.67

4. 1年次に修得すべき科目 【教養系】

長野県内大学単位互換協定

県内の他大学が開講する授業を受講して修得した単位
⇒ 信州大学の単位とみなす

共通教育履修案内「開設授業科目表」P.89
⇒ すべて「教養系」の単位として認定される

学生便覧 P.48

共通教育履修案内 P.21

4. 1年次に修得すべき科目

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次	計	
共通教育科目	言語	英語	アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅢ 2単位 アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅣ 2単位			4単位	
		初修外国語					
	専門基礎系 基礎科学	必修	数学(微分積分学Ⅰ) 2単位 数学(微分積分学Ⅱ) 2単位 数学(線形代数学Ⅰ) 2単位 物理学(力学) 2単位	数学(線形代数学Ⅱ) 2単位			10単位
		選択	化学(一般化学Ⅰ) 2単位 化学(一般化学Ⅱ) 2単位 生物学(生物学A) 2単位 生物学(生物学B) 2単位 地学(地学概論Ⅰ) 2単位 地学(地学概論Ⅱ) 2単位	物理学(波動と光) 2単位			2単位
日本語・日本事情教育科目		外国人留学生対象：教養系または英語(基礎系または専門基礎系、4単位まで)に算入可					
計						36単位	
専門科目	必修	機械システム工学ゼミナール 2単位 数学演習 1単位 機械設計製図Ⅰ 1単位	エンジニアリング科目 4単位 学部共通科目 1単位 学科共通科目 13単位		10単位	32単位	
	選択		56単位			56単位	
	計						88単位
合計						124単位	

共通教育履修案内 P.36

4. 1年次に修得すべき科目 【専門基礎系「基礎科学」】

必修科目：8単位 → 指定された科目(計8単位)を全て修得

- ・数学(微分積分学Ⅰ)(2単位, 前期)
- ・数学(微分積分学Ⅱ)(2単位, 後期)
- ・数学(線形代数学Ⅰ)(2単位, 後期)
- ・物理学(力学)(2単位, 前期)(⇒ 担当教員: 深田茂生)

数学はクラス分けあり ⇒ 4月8日(水)に掲載済み

選択科目：2単位 → 指定された科目の中から2単位必修

- ・化学(一般化学Ⅰ)(2単位, 前期)
 - ・他の科目は, すべて後期開講
- ⇒ 前期のうちに2単位修得しておくべき

学生便覧 P.48

共通教育履修案内 P.21

4. 1年次に修得すべき科目

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次	計	
共通教育科目	言語	英語	アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅢ 2単位 アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅣ 2単位			4単位	
		初修外国語					
	専門基礎系	必修	数学(微分積分学Ⅰ) 2単位 数学(微分積分学Ⅱ) 2単位 数学(線形代数Ⅰ) 2単位 物理学(力学) 2単位	数学(線形代数Ⅱ) 2単位			10単位
		選択	化学(一般化学Ⅰ) 2単位 化学(一般化学Ⅱ) 2単位 生物学(生物学A) 2単位 生物学(生物学B) 2単位 地学(地学概論Ⅰ) 2単位 地学(地学概論Ⅱ) 2単位	物理学(波動と光) 2単位			2単位
日本語・日本事情教育科目		外国人留学生対象：教養系または英語(基盤系または専門基礎系、4単位まで)に算入可					
計						36単位	
専門科目	必修	機械システム工学ゼミナール 2単位 数学演習 1単位 機械設計製図Ⅰ 1単位	エンジニアリング科目 4単位 学部共通科目 1単位 学科共通科目 13単位		10単位	32単位	
	選択		56単位			56単位	
	計						88単位
合計						124単位	

共通教育履修案内 P.3

4. 1年次に修得すべき科目 【日本語・日本事情教育科目】

外国人留学生対象

共通教育科目の

「教養系」、または

「英語(基盤系または専門基礎系、4単位まで)」

に算入可

- ・共通教育履修案内「開設授業科目表」P.100
- ・シラバス(グローバル化推進センター)
を見て、履修する授業科目を自分で選び、
履修登録期間中に履修登録すること

学生便覧 P.48

共通教育履修案内 P.21

4. 1年次に修得すべき科目

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次	計	
共通教育科目	言語	英語	アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅢ 2単位 アカデミック・イングリッシュ・フェイスⅣ 2単位			4単位	
		初修外国語					
	専門基礎系	必修	数学(微分積分学Ⅰ) 2単位 数学(微分積分学Ⅱ) 2単位 数学(線形代数Ⅰ) 2単位 物理学(力学) 2単位	数学(線形代数Ⅱ) 2単位			10単位
		選択	化学(一般化学Ⅰ) 2単位 化学(一般化学Ⅱ) 2単位 生物学(生物学A) 2単位 生物学(生物学B) 2単位 地学(地学概論Ⅰ) 2単位 地学(地学概論Ⅱ) 2単位	物理学(波動と光) 2単位			2単位
日本語・日本事情教育科目		外国人留学生対象：教養系または英語(基礎系または専門基礎系、4単位まで)に算入可					
計						36単位	
専門科目	必修	機械システム工学ゼミナール 2単位 数学演習 1単位 機械設計製図Ⅰ 1単位	エンジニアリング科目 4単位 学部共通科目 1単位 学科共通科目 13単位		10単位	32単位	
	選択		56単位			56単位	
	計						88単位
合計						124単位	

学生便覧 P.49～50

4. 1年次に修得すべき科目 【専門科目】

必修科目：4単位

- ・機械システム工学ゼミナール(2単位, 前期前半)
- ・数学演習(1単位, 前期後半)
- ・機械設計製図Ⅰ(1単位, 後期)

➡ 卒業研究を行う(4年次へ進級する)ために必要な専門科目に含まれている

選択科目：4単位

- ・力学Ⅱ(2単位, 後期前半)
- ・材料力学Ⅰ(2単位, 後期後半)

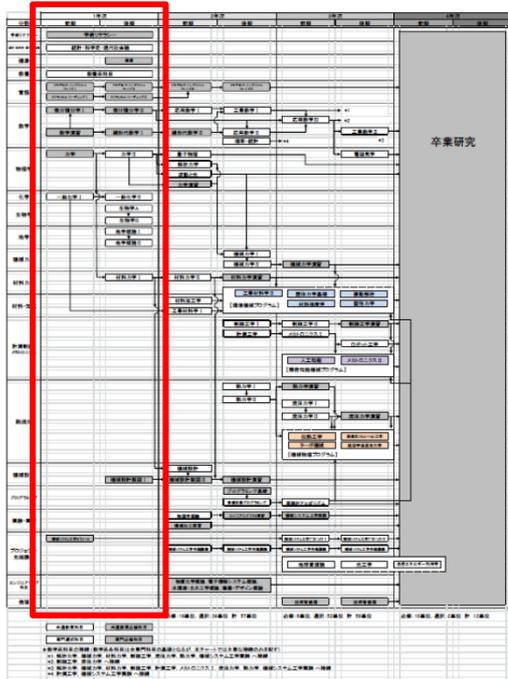
➡ 「材料力学演習」などの必修専門科目に関連するので、必ず履修して単位を修得すること

「機械システム工学ゼミナール」
「数学演習」
いずれも、5月11日(月)以降に
Web上で開講

学生便覧 P.51

履修チャート

それぞれの授業の
つながりを
図で示している



5. 学修の心得

卒業要件・進級要件は、あくまでも**必要最低数**

⇒

要件を十分に達成できるような履修計画を立てるべき
(ただし、**履修登録上限単位数は**
前期・後期それぞれ「24単位」)

まじめに履修すれば、要件は容易に達成可能

学生便覧 P.8

共通教育履修案内 P.58~60

5. 学修の心得 【GPA制度】

Grade Point Average (グレード・ポイント・アベレージ) 制度

- ・世界の大学で広く用いられている、学生の成績評価法
- ・会社に就職する、大学院に進学する、海外の大学に留学する
ような場合に、応募先での採否の判断となるもの

評語	秀	優	良	可	不可	
略記号	S	A	B	C	D	F
評価点数	90~100	80~89	70~79	60~69	50~59	0~49
GP	4	3.33	2.67	2	1	0

単位修得には「可」以上が必要 ←

学生便覧 P.8

共通教育履修案内 P.58～60

5. 学修の心得 【GPTの利用】

GPAの計算式

= GPT

$$\text{GPA} = \frac{[\text{履修登録した科目の単位数} \times \text{当該科目のGP}] \text{の合計}}{[\text{履修登録した科目の単位数}] \text{の合計}}$$

・GPT(Grade Point Total)は平均値ではない(単位数の合計で割らない)ため、「より多くの授業科目を」「より良い成績で」単位修得することによって高くなる

⇒ 機械システム工学科では、「研究室配属」「就職や大学院入試における推薦可否の判断」等において、学業成績の評価指標として「GPT」を利用する

学生便覧 P.68～69

共通教育履修案内 P.56

6. 履修における注意事項 【学生の懲戒】

試験等における不正行為

⇒ 懲戒(退学, 無期停学)処分

＋ 不正行為を行った学期の修得単位を取消

6. 履修における注意事項 【新型コロナウイルス感染症への対応】

新型コロナウイルス感染症対策に基づく

- ・授業開始時間の変更について
- ・出席停止(公欠)措置について

「新入生スケジュール」に変更が生じる場合, 等々

- ⇒
- ・信州大学ウェブサイト
 - ・キャンパス情報システム(5月11日(月)～)
- 等をこまめに確認すること

6. 履修における注意事項 【新型コロナウイルス感染症への対応】



7. 取得可能な資格・取得を目指せる資格

【教育職員免許状】

学生便覧 P.52, 70～89

中学校教諭一種免許状(理科)

高等学校教諭一種免許状(理科・工業)が取得可

【原則として、将来教職を志望する学生を対象】

※

教職志望者は、例年、「教職ガイダンス」への出席を求められる

⇒ 信州大学「教職支援センター」ウェブサイト

「教職新入生ガイダンス2020」ページがあるので、各自で確認すること

【博物館学芸員】

学生便覧 P.52, 90

8. 学外特別講義, 学外特別実習, 等

学生便覧 P.52～53

【学外特別講義Ⅰ, 学外特別講義Ⅱ】

海外留学・海外体験等の海外活動に対して認定

選択専門科目として卒業要件の単位数に加えることが「[できる](#)」

【学外特別実習Ⅰ, 学外特別実習Ⅱ】

民間企業におけるインターンシップなどの研修活動に対して認定

選択専門科目として卒業要件の単位数に加えることが「[できる](#)」

【ボランティア特別実習Ⅰ, ボランティア特別実習Ⅱ】

ボランティア等の課外活動に対して認定

卒業要件の単位数に加えることが「[できない](#)」

単位認定希望者は、学務委員へ事前に連絡すること

この資料では下記のことについて学びます

①インターネットへの接続方法

ここでの説明は大学構内でインターネットに接続する方法について説明しています。自宅から接続する場合、もしくはすでに接続できる環境にある場合はこの設定は必要ありません。

②ACSUへの接続方法へ進んでください。

②ACSUへの接続方法

信州大学のポータルサイトACSUは皆さんが利用する各種システムの入り口となっているものです。ACSUからアクセスできるシステムには、信州大学メール、履修の登録や成績を確認するキャンパス情報システム、講義の課題提出などを行うeALPSなどがあります。

入学時に配布された「信州大学 学生氏名等確認/アカウント通知書」に記載されているIDとパスワードが必要となりますので、準備してください。

③メールの確認と送信方法

①インターネットへの接続方法

自宅から接続する場合、もしくはすでに接続できる環境にある場合はこの設定は必要ありません。

②ACSUへの接続方法へ進んでください。

自宅からの接続方法はプロバイダなどにより異なりますので、プロバイダに問い合わせること。大学に問い合わせがあってもわかりません。

①インターネットへの接続方法

Wi-fiがオンになっていることを確認すること。

各キャンパスでWi-fiの名称が異なるので、該当するWi-fi名を調べておくこと。

松本キャンパス

ASAHI-PUBLIC

SEIKYOU

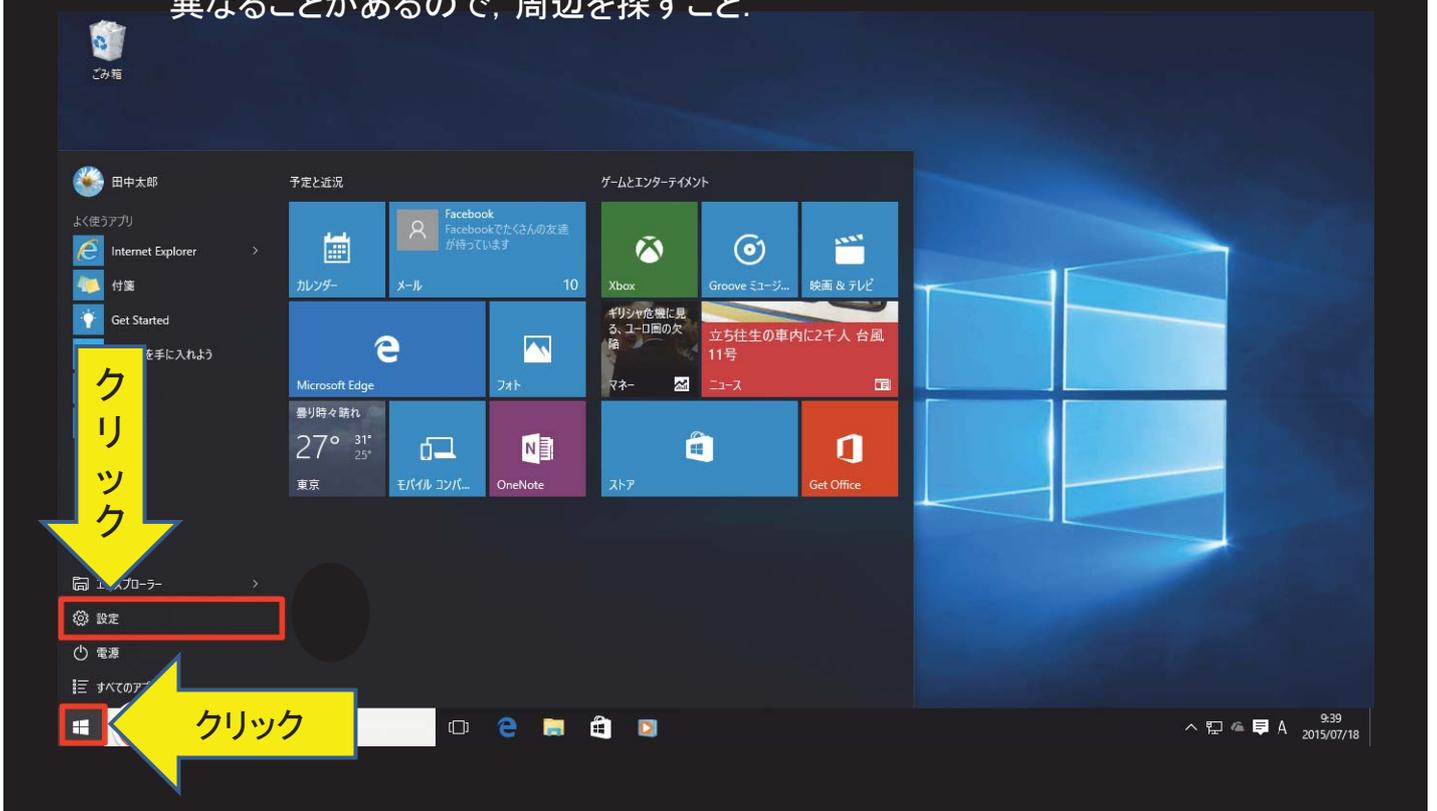
長野キャンパス(工学部)

engineering-wifi



①インターネットへの接続方法

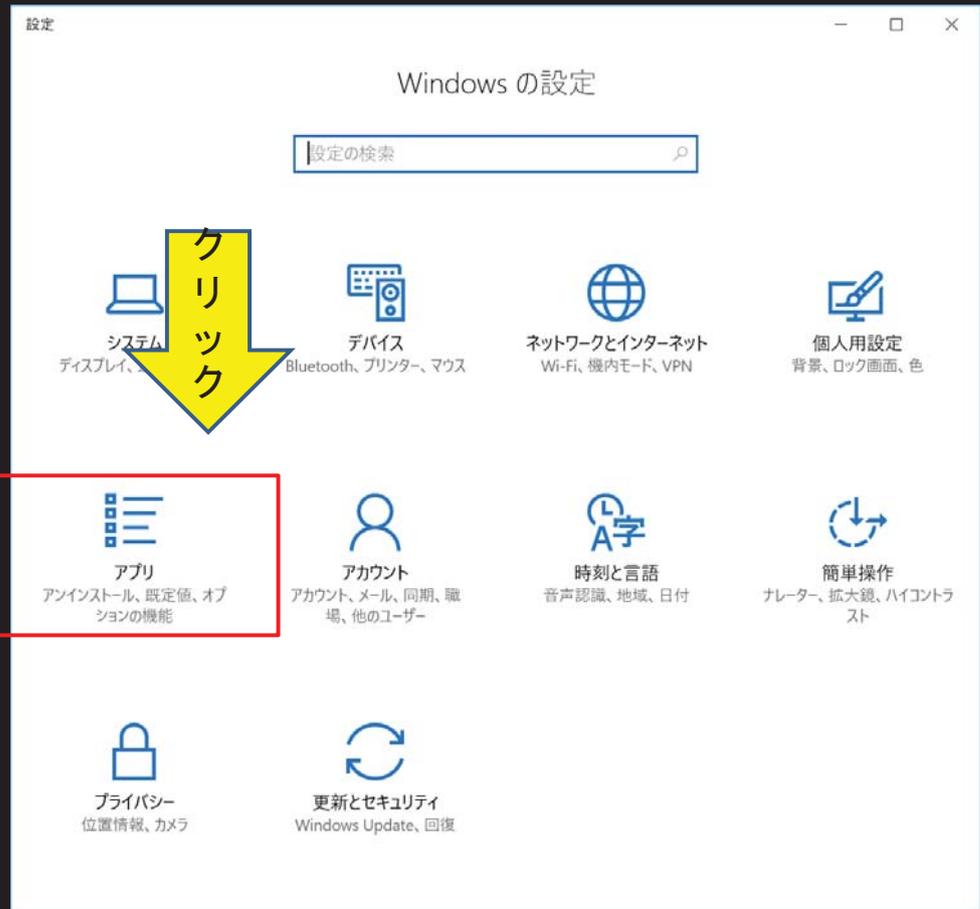
画面左下の窓マークをクリックすると、いくつか項目がでてくるので、「接続」をクリックする。Windowsのバージョンによっては少し位置が異なることがあるので、周辺を探すこと。



①インターネットへの接続方法

アプリをクリック。

Windowsのバージョンによっては少し位置と背景色が異なることがあるので、周辺を探すこと。



①インターネットへの接続方法

既定のアプリをクリック。

Windowsのバージョンによっては少し位置と背景色が異なることがあるので、周辺を探すこと。



①インターネットへの接続方法

Microsoft Edge
をクリック。

Windowsのバージョンによっては
少し位置と背景色
が異なること
があるので、周
辺を探ること。

再度選択肢が出
てきた場合は
Google chrome
があればそれをク
リック(ACSU推
奨なので)。
無ければ、再び
Microsoft Edge
をクリック。



②ACSUへの接続方法

ここからは自宅などからインターネットに接続できる環境
にあることを前提に進めます。

または学内から大学のWi-fiが検出できる状態にあるこ
とが環境として必要です。

②ACSUへの接続方法

学外(自宅など)から接続する場合

<https://acsu.shinshu-u.ac.jp/ActiveCampus/index.html> へ接続
またはGoogleなどで「ACSU」と検索し、該当のWebページを開く

学内のWi-fiから接続した場合、最初からこのページが開くかもしれません

ポータルサイト ACSU

お知らせ

2017-04-01 00:00 GoogleChromeオフラインインストーラ 総合情報センター

2016-06-20 00:00 ACSU(本サイト)のブックマーク登録URL 総合情報センター

2016-04-01 00:00 ACSUログインパスワードを忘れた場合 総合情報センター

ログインID

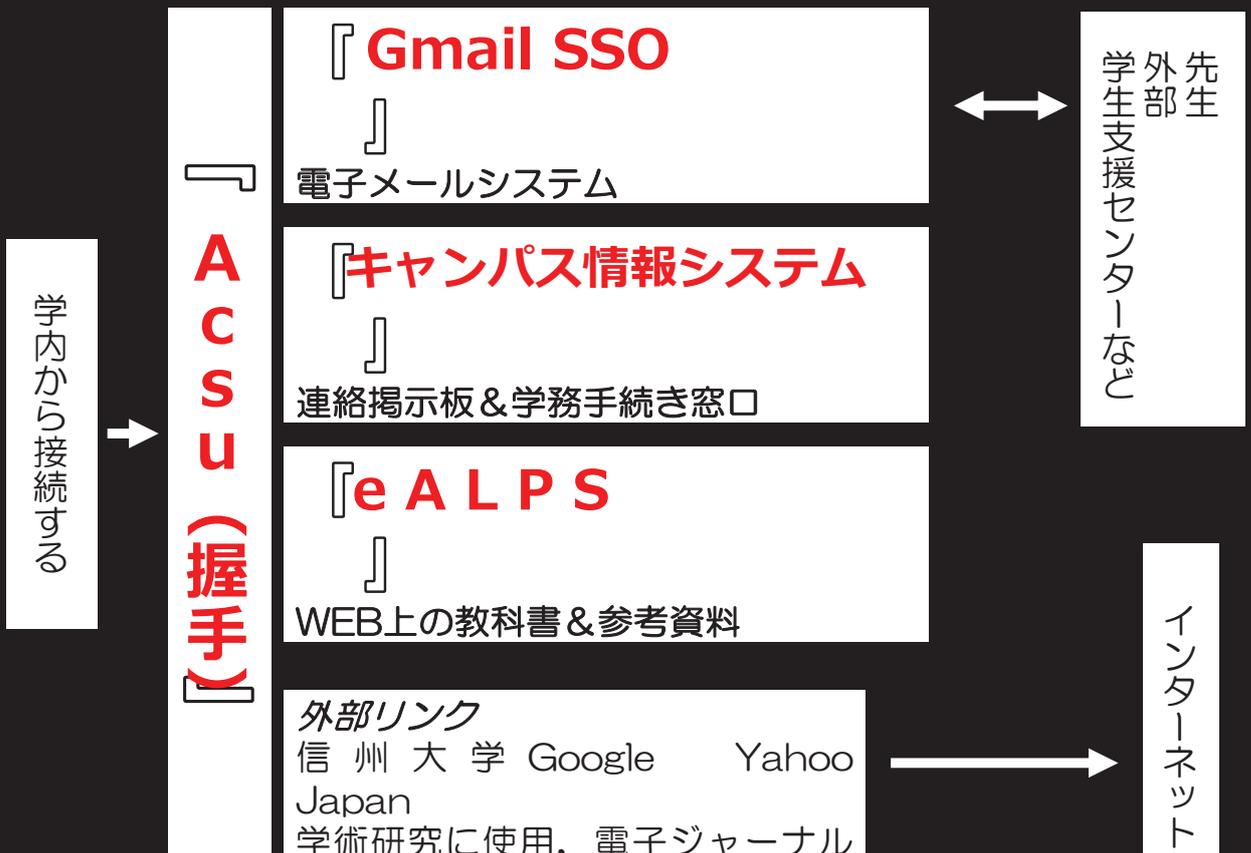
パスワード

ログイン

入学時に配布された「**信州大学 学生氏名等確認/ アカウント通知書**」に記載されているID とパスワードを入力し、「ログイン」をクリック

②ACSUへの接続方法

ACSUではこれらのことができます



② ACSUへの接続方法

学内のWi-fiから接続し、インターネットを利用する場合、「ACSUネットワーク利用SSO」をクリック(学外からは不要)

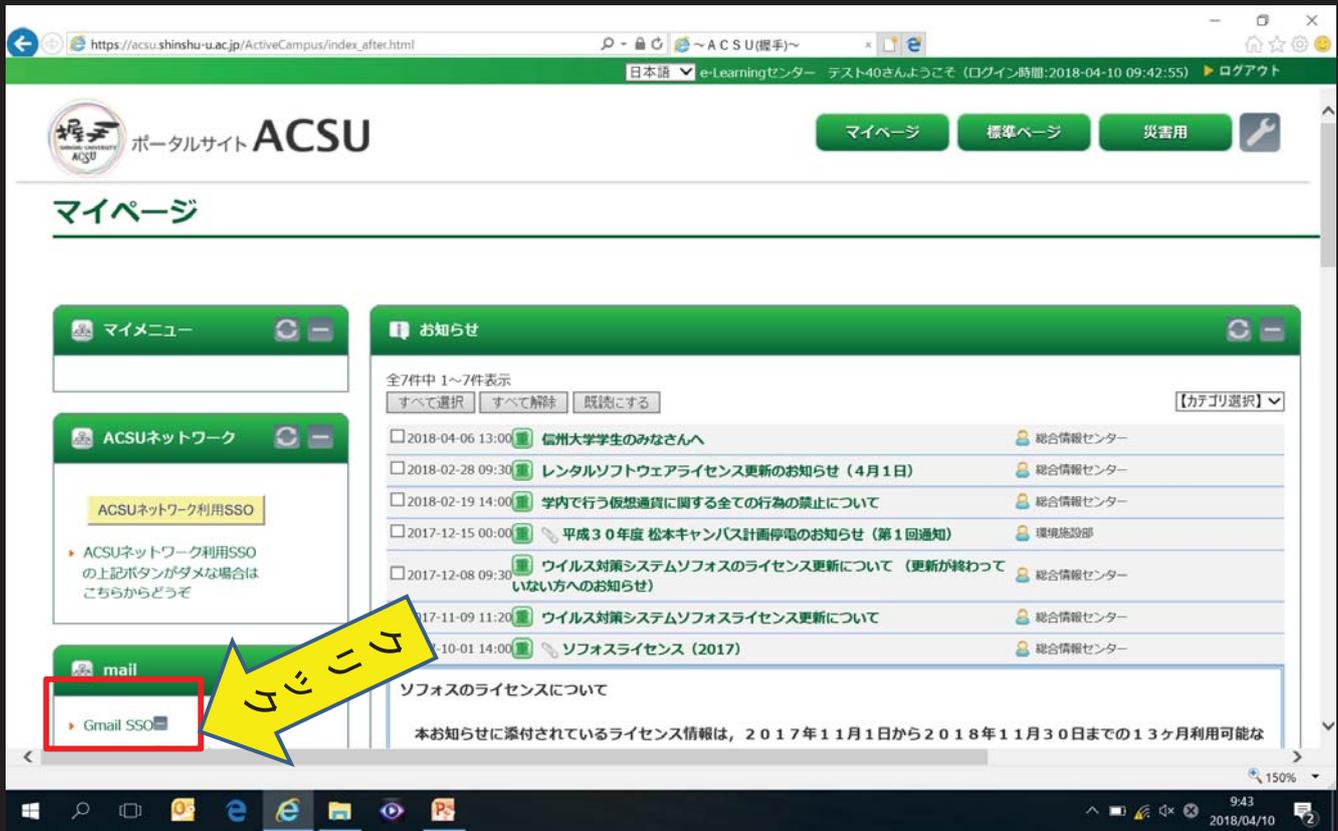
The screenshot shows the ACSU Active Campus portal. The 'マイページ' (My Page) section is visible, with the 'ACSUネットワーク' (ACSU Network) link highlighted in a red box. A yellow arrow points to this link with the text 'ここ' (here). The page also displays a 'お知らせ' (Notice) section with a list of notices, including one about software license updates for Sophos.

③メールの確認と送信方法

ここからはACSUに接続できる環境にあることを前提に進めます。

③メールの確認と送信方法

ACSUメールを利用する場合は「Gmail SSO」をクリック



③メールの確認と送信方法

ACSUメールの設定をする画面を開きます



③メールの確認と送信方法

自分の名前, 所属, 学籍番号などを「署名」として設定します。「署名」で設定した文章はメール作成時に自動でメールの最後尾に追加される, 毎回書く必要がなくなります。

The screenshot shows the Gmail '署名' (Signature) settings page. A yellow arrow points to the '全般' (General) tab. A red box highlights the signature text area, which contains the following text:
学部・学科
学籍番号
氏名 (ふりがな, 英語表記)
※メールアドレス (学籍番号@shinshu-u.ac.jp)
Below the text area, there are radio buttons for '署名なし' (no signature) and 'インジケータなし' (no indicator). A red arrow points to the signature text area with the text '署名を作成' (Create signature). At the bottom, a red banner contains the text: '「署名」を作成後, このページの最下にある「変更を保存」をクリック' (After creating the signature, click 'Save changes' at the bottom of this page).

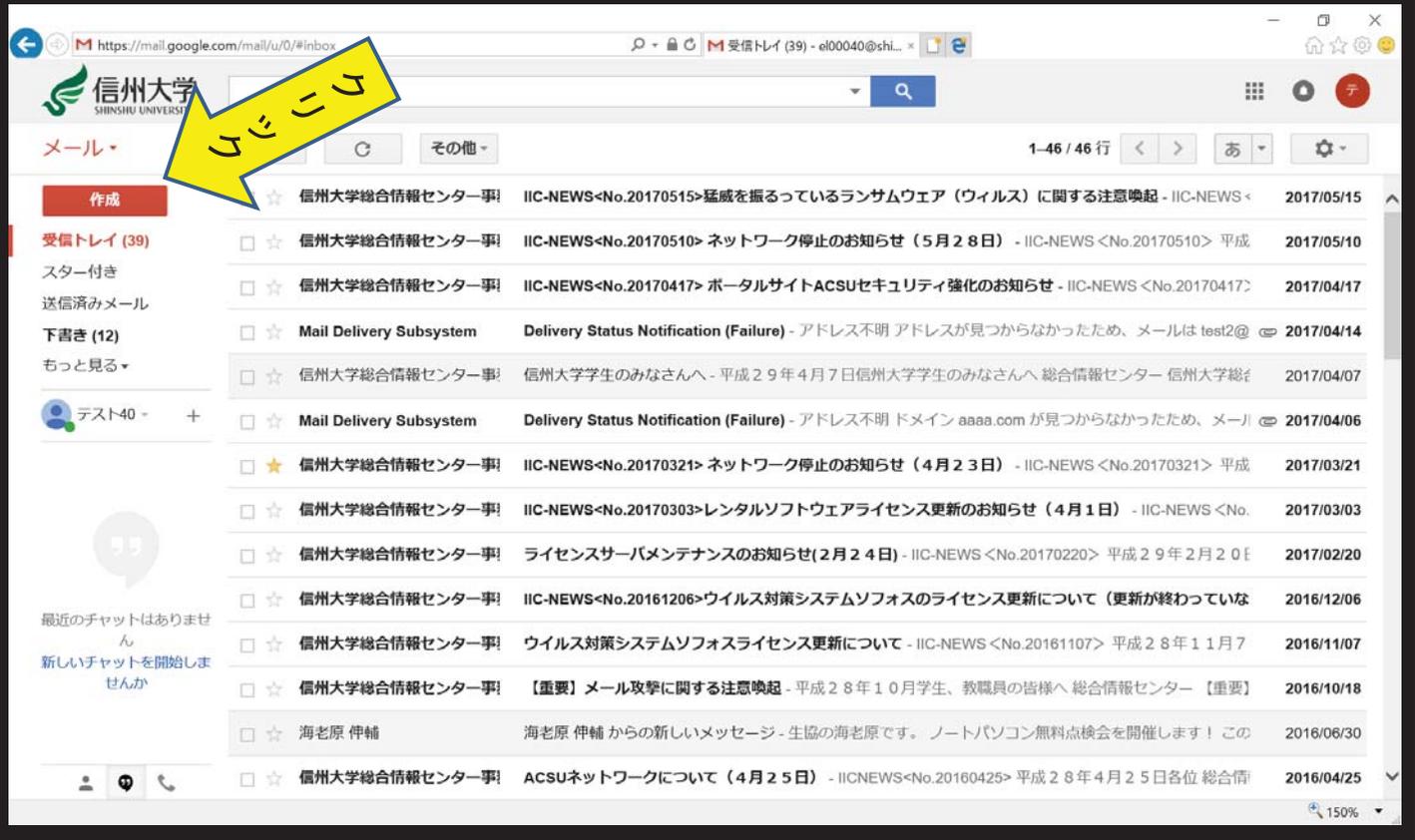
③メールの確認と送信方法

設定の中の「メール転送とPOP/IMAP」をクリックし, POPとIMAPが無効となっていることを確認(多くの場合, 最初から無効になっている)

The screenshot shows the Gmail 'メール転送とPOP/IMAP' (Mail forwarding and POP/IMAP) settings page. A yellow arrow points to the 'メール転送とPOP/IMAP' tab. A red box highlights the 'POPダウンロード' (POP download) section, which shows 'ステータス: POP 無効' (Status: POP disabled). Another yellow arrow points to the '変更を保存' (Save changes) button at the bottom. A red banner at the bottom contains the text: '無効に変更した場合, このページの最下にある「変更を保存」をクリック, 変更していない場合(最初から無効の場合)は左の「受信トレイ」をクリック。' (If changed to disabled, click 'Save changes' at the bottom of this page, if not changed (initially disabled) click 'Inbox' on the left).

③メールの確認と送信方法

メールを作成します。左上の「作成」をクリック



③メールの確認と送信方法

「作成」をクリックすると右図のようなメールの作成画面が出てきます。

受信者のメールアドレス、件名、内容、添付ファイルがある場合は添付して送信する。

新規メッセージ

← 送信したいメールアドレスを入力

← 件名は必ず記入

学部・学科
学籍番号
氏名（ふりがな、英語表記）
※メールアドレス（学籍番号@shinshu-u.ac.jp）
※電話番号

← 添付はここから

**「学籍番号」、「氏名」は必ず記入する
講義に関する質問やレポート提出の場合は「講義名」や「曜日・時間」を記入**

次はキャンパス情報システムについて

この資料では下記のことについて学びます

④キャンパス情報システムの使い方

ここでの説明はインターネットに接続し、ACSU
にログインできることを前提にしています。

キャンパス情報システムとは、講義の履修登録を行ったり、講義情報（休講や日程変更など）が掲載されるなど、大学での単位習得にかかせないシステムです。ここでは、その使い方を学びます。

④キャンパス情報システムの使い方

ACSUにログイン後、左側のメニューのキャンパスライフの項目から、「キャンパス情報システム」をクリックする。

ポータルサイト ACSU

マイページ 標準ページ

新ポータル管理

- ▶ 業務IDとメールアドレス登録
- ★パスワード変更

旧ポータル管理

- ▶ 業務IDとメールアドレス登録

キャンパスライフ

- ▶ シラバス
- ▶ 図書館ポータル MyLibrary
- ▶ **キャンパス情報システム**

新型コロナウイルスに関する情報提供サイト一覧

本件に関する担当
総合健康安全センター

- 2020-04-09 00:00 **重** 授業実施延期に伴う図書館の対応について 附属図書館
- 2020-04-07 08:00 **重** 研究者総覧に関するお知らせ 附属図書館
- 2020-04-06 00:00 **重** 「アカウントが作成されました。」との件名で4/6に学生に送付されたメールについて 総合情報センター
- 2020-04-06 00:00 **重** (学生)Office等のMicrosoft製品を利用可能です 総合情報センター
- 2020-04-03 00:00 **重** 【感染拡大防止対策】長野県外へ行く場合の届出について 新型コロナウイルス感染症対策本部

教職員、学生の皆様へ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、集中対策期間（4月3日～5月10日）中、長野県外へ行く場合には下記アンケートフォームより届出してください。このアンケートは、感染拡大防止の目的のみ本学で利用するものです。

教職員用→ACSUに業務IDにてログイン後、左メニューよりお知らせ→アンケート→「（職員用）新型コロナウイルス感染症集中対策期間において長野県外へ行く場合の登録について」をクリック

初期設定

キャンパス情報システム

- ◆ お問い合わせ
- ▶ 信州大学ホームページへ
- ◆ ログイン操作手引
 - 学生用
 - 教員用
- ◆ プライバシーポリシー

キャンパス情報システム ログイン

お知らせ
新入生の皆さんご入学おめでとうございます。
「学習の手引き ケータイ・パソコンを学生生活に活用しよう」を参照してユーザー登録を行ってください。

*****【メールアドレスの確認について】*****
本システムにメール登録後、1年を過ぎるとLogin後にメール確認メッセージが表示されます。
メールアドレスに変更がある場合は、メールアドレスの変更を行ってください。
メールアドレスを登録する URL をクリックしてください。

ユーザー登録をします

AM2:00～5:00は、バックアップのため一時的にシステムが停止します。

IDとパスワードを入力します

↓
学籍番号とパスワードを入力してログインして下さい
教職員は、ユーザーIDとパスワードを入力してログインして下さい

学籍番号 (教職員はユーザーID)
パスワード

ログイン

パスワードを忘れた場合は学籍番号(ユーザーID)だけを入力してパスワード送信ボタンを押してください。
登録されているメールアドレスへパスワードを送信します。

パスワード送信

パスワード変更

キャンパス情報システム トップページ

ログイン後にはこのような画面に変わります。キャンパス情報システムのトップページです。このページには大学からの皆さんへの呼び出しやお知らせが表示されます。最初の画面ですので必ず見るようになりますが、常に確認するようにしましょう。講義情報など細かい情報を見るためには左のメニューを使用します。次の画面で紹介します。

信州大学 Shinshu University
キャンパス情報システム

キャンパス情報システム

- ・トップページ
- ・ログアウト
- ◆講義情報
 - ・休講情報
 - ・時間割・講義室等変更情報
 - ・集中講義日程情報
 - ・授業に関する情報
- ◆履修・成績
 - ・シラバス
 - ・履修・成績
 - ・授業評価
 - ・ポートフォリオ
 - ・授業抽選登録
- ◆学生生活情報
 - ・授業料免除・奨学金申請情報
 - ・授業料免除・奨学金連絡事項
 - ・健康診断結果参照
- ◆お知らせ
 - ・大学からのお知らせ

ようこそキャンパス情報システムへ
さん

あなたに学生呼び出しはありません

お知らせ

左メニューからご覧になりたい内容を選択して下さい。

メニューが見えない場合は[こちら](#)
(フレームを表示します)

**学生呼び出しやお知らせが
トップページに表示されます**

キャンパス情報システム トップページ

まずは「講義情報」からです。4つの項目があります。休講の情報や時間割・講義室変更など日々の講座に必要な情報です。必ず目を通しましょう。

信州大学 Shinshu University
キャンパス情報システム

キャンパス情報システム

- ・トップページ
- ・ログアウト
- ◆講義情報
 - ・休講情報
 - ・時間割・講義室等変更情報
 - ・集中講義日程情報
 - ・授業に関する情報
- ◆履修・成績
 - ・シラバス
 - ・履修・成績
 - ・授業評価
 - ・ポートフォリオ
 - ・授業抽選登録
- ◆学生生活情報
 - ・授業料免除・奨学金申請情報
 - ・授業料免除・奨学金連絡事項
 - ・健康診断結果参照
- ◆お知らせ
 - ・大学からのお知らせ

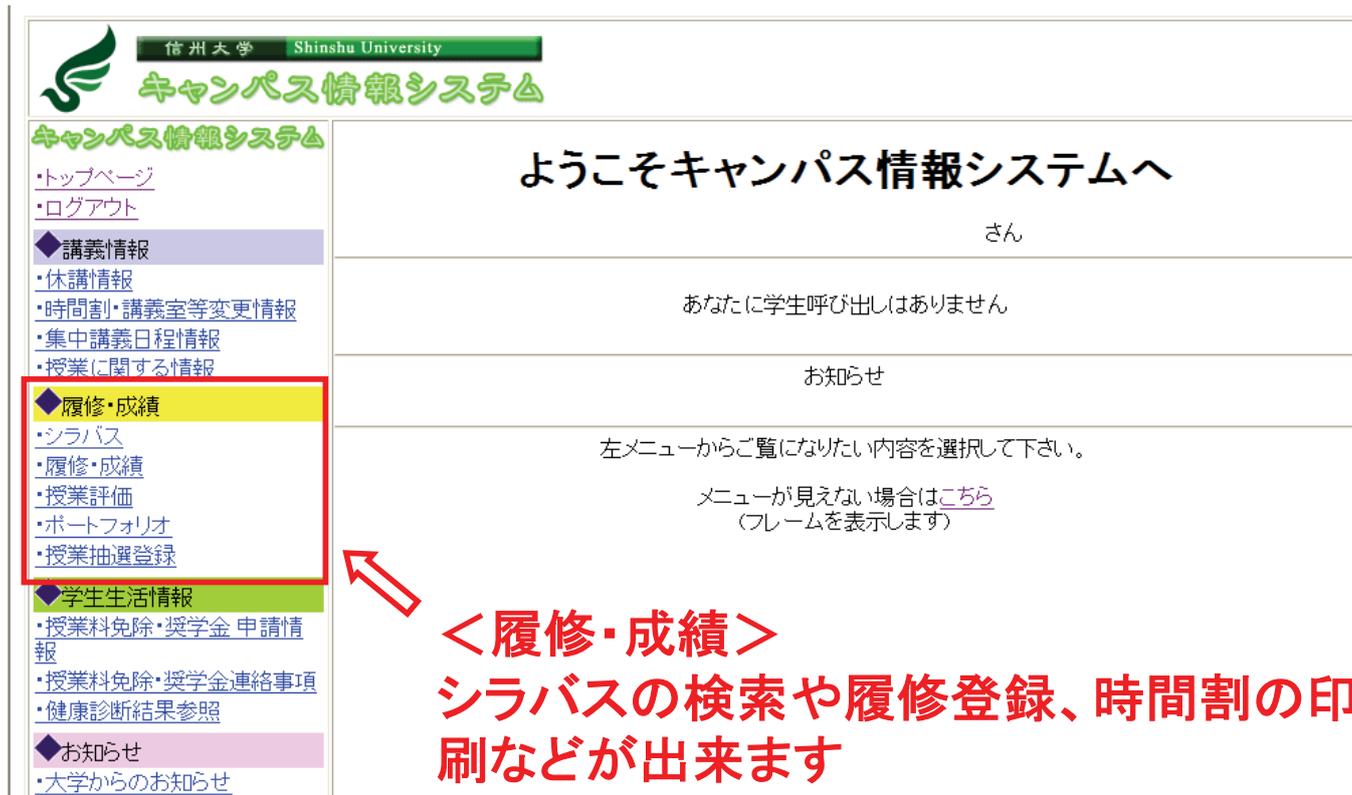
ようこそキャンパス情報システムへ
さん

あなたに学生呼び出しはありません

<講義情報>
休講の情報や時間割・講義室変更など
日々の受講に必要な情報です。
必ず目を通すようにしましょう。

キャンパス情報システム トップページ

次に「履修・成績」についてです。ここには5つの項目があり、シラバスの検索や履修登録、時間割の印刷などが可能です。



信州大学 Shinshu University
キャンパス情報システム

キャンパス情報システム

- ・トップページ
- ・ログアウト
- ◆ 講義情報
 - ・休講情報
 - ・時間割・講義室等変更情報
 - ・集中講義日程情報
 - ・授業に関する情報
- ◆ **履修・成績**
 - ・シラバス
 - ・履修・成績
 - ・授業評価
 - ・ポートフォリオ
 - ・授業抽選登録
- ◆ 学生生活情報
 - ・授業料免除・奨学金 申請情報
 - ・授業料免除・奨学金連絡事項
 - ・健康診断結果参照
- ◆ お知らせ
 - ・大学からのお知らせ

ようこそキャンパス情報システムへ
さん

あなたに学生呼び出しはありません

お知らせ

左メニューからご覧になりたい内容を選択して下さい。
メニューが見えない場合は[こちら](#)
(フレームを表示します)

<履修・成績>
シラバスの検索や履修登録、時間割の印刷などが出来ます

せっかく受講していても
履修登録をしていないために
単位にならなかった



進級できなかった

とならないように気をつけましょう